

(別紙)

第6次白鷹町総合計画基本構想(案)に寄せられた意見の概要と対応

平成31年3月
白鷹町企画政策課

no.	該当箇所	ご意見の概要	ご意見に対する対応
1	全般	少子、高齢化の中で現在の区長(区長会)を主体とした行政組織のあり方を検討することを明示すべき。人口減少が進み町内会の維持すら大変な状況となっている。人口減少でどう地域を維持するのか最近地域の中でも真剣に議論されるようになった。	「4. 地域の個性を磨き、「連携する」まちづくり」においても、「持続可能なコミュニティを形成し、安心して住み続けることができること」が目指すべき地域社会の姿であると記述しており、目指すべき姿に向けた取組が必要であると考えております。 なお、行政組織のあり方については、各地区住民の意向を十分踏まえ、対応をしていく必要があると考えております。
2	4. 地域の個性を磨き、「連携する」まちづくり	地域づくりは、コミュニティセンターを中心に進めることとされている。町ではコミュニティセンター構想を打ち出し、受け皿として協議会、振興会等の組織を地区で立ち上げた。受け皿団体で活動していると理解している。地域づくりを進めるには、役場職員のサポートが必要である。	少子高齢化に伴う人口減少、若年労働者の町外流出、高齢者世帯の増加等により地域社会の形態が変化し、地域や人と人との結びつきの希薄化、地域における活力の低下が進んでおります。これらに対応するため、従来の地区公民館をコミュニティセンターに移行し、それぞれの地域の実情に則して、地域住民が自らの意思と選択により民主的に運営するとともに、行政はそれを支援する形を進めてきたところです。 今後についても、行政によるサポート体制を充実してまいります。